**○○○学校におけるチーム支援（案）**

　改訂された生徒指導提要では、チーム支援による組織的対応の重要性が強調されており、深刻化、多様化、低年齢化する生徒指導の諸課題を解決するためにも、早期のチーム支援が必要であるとされている。生徒指導提要に示される3つのチームの役割と構造を、以下に示す。

1. **機動的連携型支援チーム**

学級・ホームルーム担任が一人で問題を抱え込まずに、当該生徒の担当教員、生徒指導主事、教育相談コーディネーター、特別支援コーディネーター等と協力して、課題発見後にできるだけ迅速に実態の把握、アセスメント、支援方針の検討を行う。

1. **校内連携型支援チーム**

対応が難しい場合は、生徒指導主事や教育相談コーディネーター、特別支援コーディネーター、学年主任、養護教諭、SC、管理職等校内の教職員が連携・協働して支援対応を検討する。

1. **ネットワーク型支援チーム**

さらに、深刻な課題は、校内連携型支援チームに加えて、校外の関係機関等社会資源を活用して、連携・協働して組織的に対応する。

**機動的連携型支援チーム**

担任等と学年・各校務分掌の最小単位の連携・協働

**校内連携型支援チーム**

ミドルリーダーの

コーディネーションによる連携・協働

**ネットワーク型支援チーム**

地域・関係機関等との連携・協働

管理職のリーダーシップによるマネージメント

**チーム支援の流れとミドルリーダーの役割**

**ミドルリーダー　・生徒指導主事（兼教育相談コーディネーター）**

**・特別支援コーディネーター**

・ミドルリーダーは、迅速に解決できるように、協力補完し合いながら行動する。

* 連続して3日欠席　　　　　※各学校の実態に合わせて具体的に記入
* 1か月以内に7日を超える欠席または頻回の遅刻欠席（不登校傾向）
* いじめの訴え・情報提供またはいじめが疑われる場合
* 学習不適応や学校不適応が疑われる場合
* 自殺願望をほのめかすような言動があった場合
* SNS等に問題だと思われる投稿を発見した場合
* 校則または社会規範に反した行動が確認された場合
* その他高校生として品性を著しく損なうような行動が確認された場合

**機動的連携型支援チーム**

**担任等と学年・各校務分掌の最小単位の連携・協働**

発見者からの連絡で**ミドルリーダー**が関係者を招集する

・管理職への報告・連絡・相談を迅速に行う。

・チーム会議は全員揃わなくても、主要メンバーを持って開催する。

※ミドルリーダーの判断で、最初から

校内連携チームを招集する場合もある。

**校内連携型支援チーム**

**ミドルリーダーのコーディネーションによる連携・協働**

**ミドルリーダー**は、管理職に報告相談の後、チームを招集する。機動的連携型チームでの検討内容を報告し、より多角的に支援内容を検討する。

**ネットワーク型支援チーム**

**地域・関係機関等との連携・協働**

校内連携型支援チームだけでは支援対応が難しいと判断した場合は、積極的に地域の資源を巻き込んだチーム支援に切り替える。学校側の連絡調整窓口は**○○○○○**が担当する。チーム会議のコーディネーとは、**ミドルリーダー**が担当する。